

校友会東京支部総会（高高祭）に出席して



富田（小川） 智子（高39回）

すべては一本の電話で始まった。3月某日、現上野幹事長より、東京支部の若返り活性化の為、佐久間支部長と39回生との懇談会を4月22日に開催とのこと。その出席者を募る為の声掛け依頼電話であった。39回生で現高高野球部の大島監督を通じ、東京在住・元野球部マネージャーの私に白羽の矢が立ったのだ。私はこの時初めて、東京支部総会が毎年6月第3金曜日開催と知る。しかも39回生は例年総会出席者0名だと。ここは39回生の汚名返上すべく、まずは懇談会の出席者を集めねば！

取り急ぎ連絡可能な約30名にメール。更に連絡の途絶えている39回生の搜索活動開始。所在に拘らず全員に連絡すべく奮闘。だが同期315人はとてつもなく多く、孤独な作業を諦めかけた頃、強力な助っ人Iさん登場！旧友の有り難さに涙。Iさん所有の平成19年度校友会名簿を基に搜索続行。その過程で39回生50名程参加のML（メールリンク）があると判明。お陰で同期170名程の所在がわかり、その結果懇談会出席者は過去最多の14名となった。

私もMLに参加、懇談会写真をMLに投稿した。経年変化した出席者の姿や、古くて新しい友人が反響を呼び、懇談会はMLで「プチ同窓会」と呼ばれ始める。すると各地で「プチ同窓会」を誘発、遂には9月20日に39回生同窓会開催が決定！行きがかり上、今度はクラス別に担当を決め、残る140余名の搜索活動を再開することになった。3月の頃に比べ、旧友達とメール交換しながらの搜索は、なんと楽しいことか。

6月19日東京支部総会に初参加を果たしたのは、そんな再搜索活動中だった。MLや直メールで募った同期は15名。卒業以来20数年ぶりの再会でもすぐに打ち解ける。メル友はナマ友になる。5年に一度の大抽選会で同期4名当選、ML管理人M君が当選者が出る度、MLに実況報告。その場にはいない39回生にも総会の熱気が伝わる。出席者総勢約700名の校歌斉唱は圧巻だった。当時お世話になった先輩・後輩との再会に感動。総会後の二次会には同期23名出席した。MLに写真や動画が投稿され、盛り上がる。



9月5日現在、MLは同期生114名が参加している。9月20日の同窓会には100名が出席予定。39回生ほぼ全員の搜索は完了し、名簿作成中である。懇親会と東京支部総会をきっかけに、39回生は懐かしく新しいオトナの親交を始めた。旧交を深め、さらに高校時代の記憶にない人や、当時一度も話せなかった人とも初交流し、40歳になった喜びを味わっている。このような貴重なきっかけを39回生に与えて下さった佐久間支部長に感謝致します。有難うございました。